



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

地(知)の拠点大学による地方創生について ～ COCからCOC⁺へ～

平成27年3月20日(金)

文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室

地(知)の拠点整備事業 平成25年度～(支援期間 5年間)

【概要】

地域の自治体との連携を必須とし、
地域と大学が相談し、解決が必要と考える課題に対し、
カリキュラム改革等を通じて全学的に取り組む事業を支援

【採択状況】

	平成25年度	平成26年度	備考
採択大学(件数)	56大学(52)	26大学(25)	計82大学(77)
申請大学数	342大学	246大学	大学・短期大学・高専数1198校 うち 424校(35.4%)申請 82校(6.8%)採択
予算額	23億円	34億円	

「地(知)の拠点整備事業」のねらい

<取組の概要>

①地域の課題(ニーズ)と大学の資源(シーズ)のマッチング等により、地域と大学が必要と考える取組を全学的に実施

例えば

教育	地域志向	地域に関する学習、地域が求める人材を育成 等
研究		地域課題解決の研究実施、研究成果還元、技術指導 等
社会貢献		子供の学び支援、高齢者・社会人学び直し、商店街活性化 等

○教育カリキュラム・教育組織の改革は必須
(地域志向科目の全学必修化)

○取組は地域の課題・大学の資源により異なる

②全学的な取組の明確化

- ・地域を志向した大学であることを明確に宣言(学則等の位置づけ、全学教職員へのFD・SDの徹底など)
- ・大学のガバナンスの改革を実施し、地域の声を受け止める体制を整備

③大学と自治体が組織的・実質的に協力

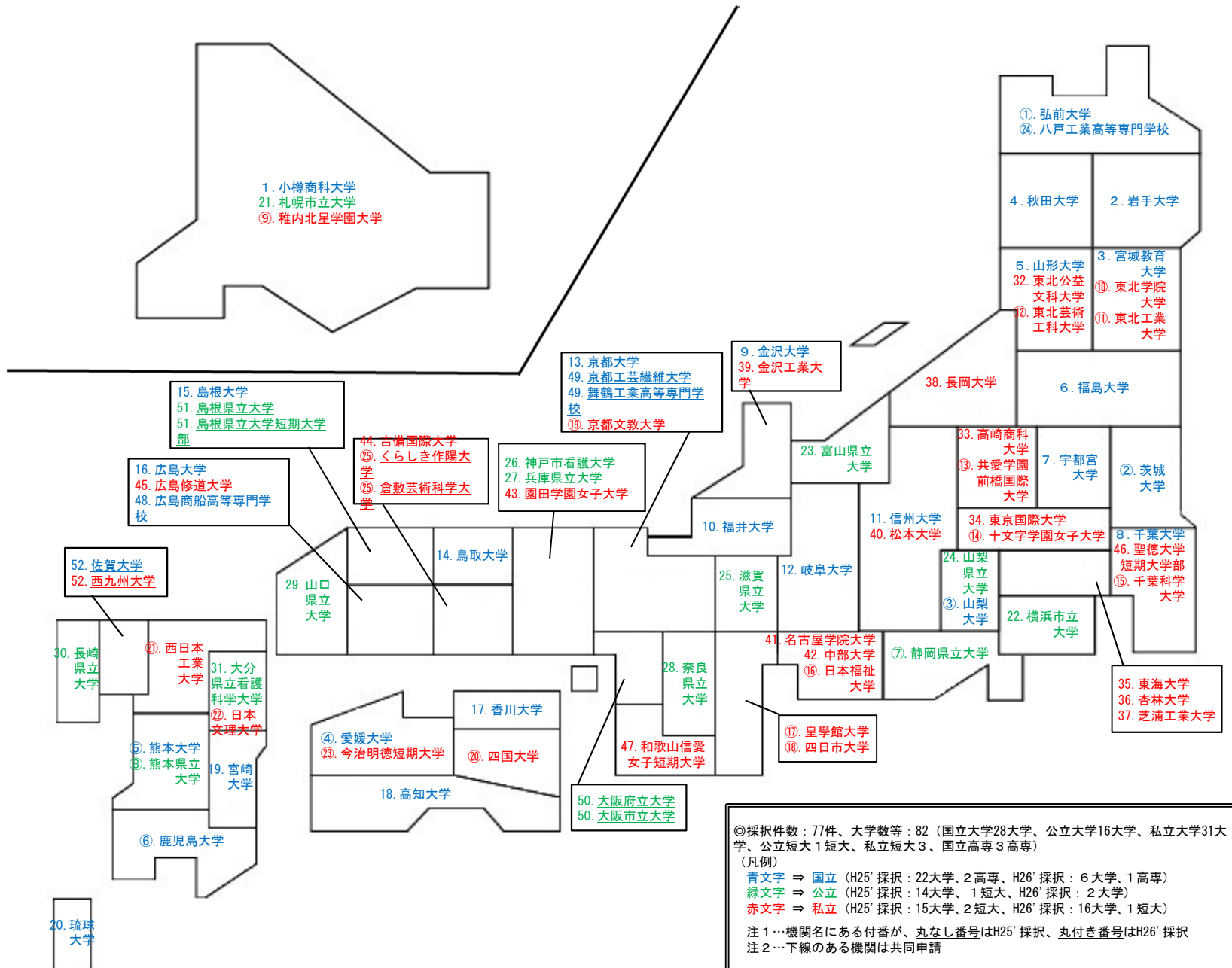
- ・自治体の参画意志を示す副申(もしくはそれに代わる書類)や対話の場の設定
- ・自治体からの支援の徹底(財政支援、土地貸与、人員派遣等)

<「地(知)の拠点整備事業」の目標>

- 学長のリーダーシップの下、大学のガバナンス改革を推進
- 各大学の強みを活かした大学の機能別分化を推進

地域再生・活性化の核となる大学の形成

地(知)の拠点整備事業 都道府県別採択拠点



◎採択件数：77件、大学数等：82（国立大学28大学、公立大学16大学、私立大学31大学、公立短大1短大、私立短大3、国立高専3高専）
 (凡例)
 青文字 ⇒ 国立 (H25' 採択：22大学、2高専、H26' 採択：6大学、1高専)
 緑文字 ⇒ 公立 (H25' 採択：14大学、1短大、H26' 採択：2大学)
 赤文字 ⇒ 私立 (H25' 採択：15大学、2短大、H26' 採択：16大学、1短大)
 注1…機関名にある付番が、丸なし番号はH25' 採択、丸付き番号はH26' 採択
 注2…下線のある機関は共同申請

1. 人口減少克服に向けて解決すべき現状の課題

- 地方からの人口流出は、**大学等進学時と大学等卒業後の最初の就職時という2つの時点において顕著。**
- 特に大学等卒業後の地方定住を促進するためには、**在学中から授業等を通じて地域との関わりを深める取組**や、大学等の卒業生が**地方に定住して働く雇用を創出する必要があるが、必ずしも十分な成果に至っていない。**

2. 自律的・持続的な社会創生に向けて地方が取り組むべき対策の方向性

- 地方の人口減少を克服していくため、地方公共団体と大学等が連携し、**人口の東京一極集中が顕著となる上記2時点に焦点を当て、学生が地域に残るための重点的な取組を進めることが必要。**具体的には、各地方が実情を踏まえた創意工夫を発揮しながら、以下の方向性に沿った対策を講じていくことが求められている。

- ≫ より多くの地方の若者が、地方大学等へ進学
- ≫ 地方大学等を卒業したより多くの若者が、就職時に地元企業等を選択
- ≫ 都市部の大学等に進学した若者も、就職時に地方へ環流

- 同時に、地方への定住の流れを継続させるためには、**大学等と地域の関わりを強化し、大学等が有する専門知識を活かした産業振興・雇用創出等を図る対策を併せて実施することが必要。**

3. 地方公共団体と大学等との連携による雇用創出・若者定着に向けた取組の促進

- ① **地方公共団体と地元産業界が協力し、学生の奨学金返還を支援するための基金を造成**
 - ・将来の地域産業の担い手として地方公共団体が指定する分野へ進学した学生に対し、文科省（独）日本学生支援機構）が無利子奨学金の優先枠（地方創生枠（仮称））を設けるなど一定の優遇措置を実施
 - ・地元就職者等に対し、地方公共団体と地元産業界で造成する基金から奨学金返還の際に一定の給付を実施（基金造成について特別交付税措置）
- ② **地方公共団体と大学等が具体的な数値目標(※)を掲げた「協定」を締結し、連携して雇用創出・若者定着の取組を実施**
 - ・総務省は地方公共団体の取組に対して特別交付税措置により支援
 - ・文部科学省は大学等の取組に対して補助事業により支援

※ ●●大学卒業生の県内就職率 ○%アップ、共同研究に基づく新事業による雇用創出 ○人 など

※ 本件に関する総務省HP：http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/O1zaisei07_02000108.html

平成27年度予定額 44億円[新規](旧COC事業平成26年度予算額 34億円)

【背景・課題】

人口減少を契機に、『人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる』という負のスパイラルに陥ることが危惧されている。

地方/東京の経済格差拡大が、東京への一極集中と若者の地方からの流出を招いている。特に、地方圏から東京圏への転入超過は、大学入学時及び大学卒業・就職時の若い世代に集中。

【事業概要】

地方の大学 … 地域の自治体や中小企業等と協働し、**地域の雇用創出や学卒者の地元定着率の向上に関する計画を策定** (自治体の教育振興基本計画等へ事業期間中に反映)

東京等の大学 … **地方の大学や自治体・中小企業等と協働し**、地方の魅力の向上に資する計画を策定 (協働する自治体の施策等へ事業期間中に反映)

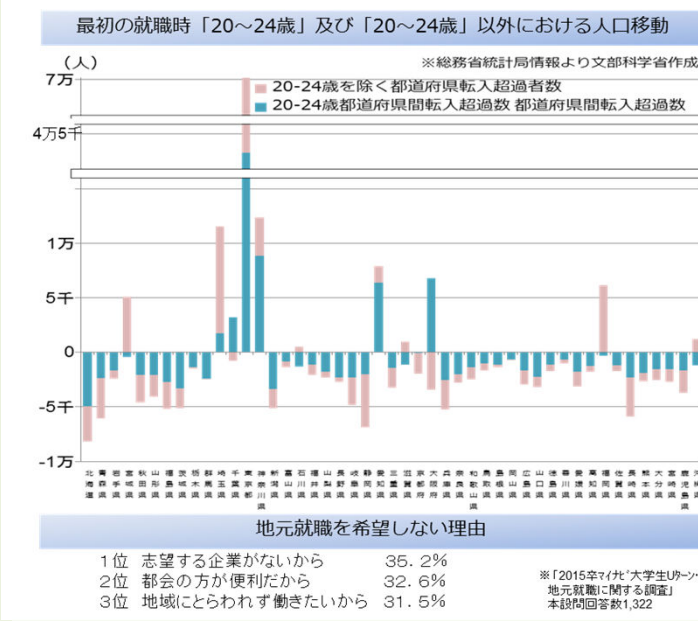
- COC事業の要件を満たした大学が、地域と協働し、**地域を担う人材育成計画を実現するための教育改革を実行**
- COC推進コーディネーターを活用し、都道府県内の他大学や自治体、企業等の**連携先(事業協働機関)を拡大**

⇒ 事業協働機関が設定した目標達成のため、**大学力(教育・研究・社会貢献)**を結集

※ COC大学は事業協働機関に参加することが事業継続の条件

【支援内容】

地域活性化政策を担う自治体、人材を受け入れる地域の企業や地域活性化を目的に活動するNPOや民間団体等と協働して、地方を担う人材育成に取り組む大学が**COC推進コーディネーター**の活用等により、地方創生を推進・拡大する取組を支援。



【成果】

- ・事業協働地域における雇用創出
- ・事業協働地域への就職率向上

↓
若年層人口の東京一極集中の解消

【COCからCOCへ】

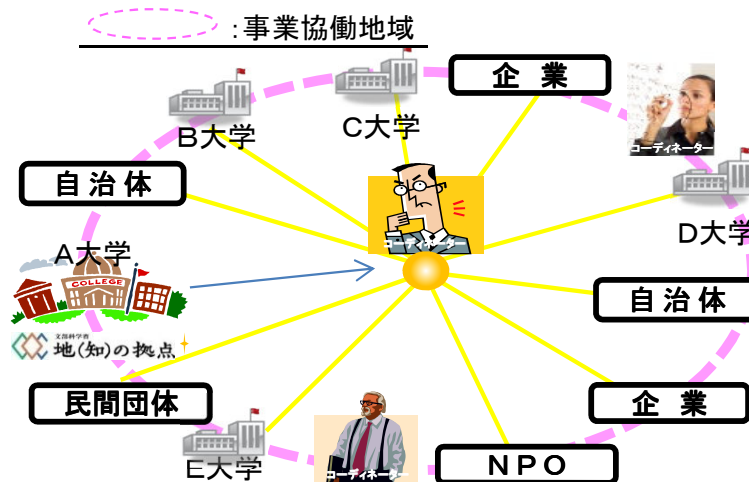


自治体

自治体

以下の要件を満たした上で、大学の教育・研究・社会貢献機能(シーズ)と地域課題(ニーズ)をマッチング

- ①全学的な取組としての位置付けを明確化
- ②大学の教育研究と一体となった取組
- ③大学と自治体が**組織的・実質的に協力**
- ④これまでの**地域との連携の実績**
- ⑤**自治体からの支援の徹底** - マッチングファンド方式 -



COC推進コーディネーター

- ・事業協働機関による教育プログラムや就職率向上プラン策定のコーディネート
- ・COC事業成果の連携大学等への普及
- ・地方創生事業連携先の開拓
- ・他県のCOCコーディネーターと協働で全国的なネットワークの構築等

大学を「地(知)の拠点(COC)」へ

Center of Community

事業名称	地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)	地(知)の拠点大学による地方創生推進事業
事業目的	地域のニーズと大学のシーズ(教育・研究・社会貢献)のマッチングによる地域課題の解決	地方の大学群と、地域の自治体・企業やNPO、民間団体等が協働し、地域産業を自ら生み出す人材など地域を担う人材育成を推進
最終目標	地域再生・活性化の核となる大学の形成	若年層人口の東京一極集中の解消
申請要件	<ul style="list-style-type: none"> ①全学的な取組としての位置付けを明確化(学則等の位置付けなど) ②大学の教育研究と一体となった取組(全学生が在学中に一科目は地域志向科目を履修) ③大学と自治体が組織的・実質的に協力 ④これまでの地域との連携の実績 ⑤自治体からの支援の徹底-マッチングファンド方式- 	大学COC事業の要件に以下を追加 <ul style="list-style-type: none"> ⑥自治体の教育振興基本計画や申請内容に係る自治体の基本計画等への申請大学の役割の記載 ⑦地域の複数大学、中小企業やベンチャー企業、NPO等との連携
成果指標	取組に対する連携自治体の評価	連携自治体にある企業等への就職率・雇用創出数 取組に対する連携自治体及び中小企業等の評価
予算	平成26年度 34億円 平成25年度 23億円	平成27年度予定額 44億円